

事業名 逢妻女川彼岸花植栽事業
団体名 逢妻女川彼岸花育成会



活動の目的 (平成23年度)
 逢妻女川の土手をきれいにし、彼岸花を植栽することで
 景観の維持を図る。

主な活動内容
 ・450mの両岸の草刈りを実施
 ・彼岸花の植栽
 ・休憩所の実施(彼岸花の開花中のみ)
 ・陥没箇所の補修

補助金額 551,000円 **会員数** 20人

事業名 千足町のまちづくり事業
団体名 コスモスクラブ千足



活動の目的 (平成23年度)
 地域住民が主体となりコスモス栽培をすることを通じて、
 連帯感や交流を深め、地域の活性化を図る。

主な活動内容
 ・コスモスの育成
 (種取りまで含む)
 ・コスモスフェア(ウォーキング大会)の実施

補助金額 270,000円 **会員数** 15人

事業名 逢妻女川の環境ふれあい事業
団体名 逢妻女川を考える会



活動の目的 (平成23年度)
 逢妻地区のシンボルである逢妻女川の自然を守りなが
 ら、地域のふれあいの場所にする。

主な活動内容
 ・草刈活動(週1回)
 ・水質調査(月1回)
 ・地区の交流館で捕獲した生き物を展示
 ・講演会、観察会など実施

補助金額 195,000円 **会員数** 23人

事業名：安全・安心・ゆとりの通学路事業

取組課題

生活道路への自動車の流入により、子どもやお年寄りなど歩行者が危険である。地域住民の約2割が、通学路の安全確保を地域課題と感じている。

事業内容

- ①現状についての専門的調査、ヒヤリハットマップ作成
- ②逢妻地域に特化した安全啓発教材、グッズの作成
- ③地域主体で、子どもからお年寄りまで楽しみながら学べる交通安全イベントの開催
- ④事業実施による効果の測定、実施の内容を冊子化して配布

23年度予算額： 3,676千円



地域のイベントにおいて、地元の大学と協力連携して、大人と子どもが皆で楽しみながら学べる交通安全教室を実施しました。(平成21年度～:年1回)



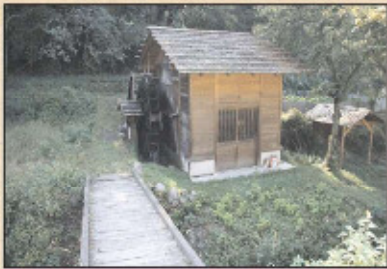
地域の小学校周辺の通学路で、危険な道路に対し、通行車両への注意喚起のためのカラー舗装を実施しました。(平成23年度)



過去作成したヒヤリハットマップにより地域の声を反映させ、住民の交通安全への意識を更に高めるための、ワークショップを開催、より詳細なマップを作成しました。



通学路に、自動車を運転する者及び他の通行人に対して通学路の認識をもたせ、児童の交通事故防止を図るための「みどり線」を設置しました。(平成22年度)



事業名 水車小屋周辺環境整備
団体名 水車の里 つくば



事業名 夢渡野ジャズライブ事業
団体名 夢渡野会



事業名 竹林の環境整備
団体名 有間竹林愛護会



事業名 週末ファーム事業
団体名 わくわく鋤耨農業体験



事業名 しきしま ときめきプラン里づくり事業
団体名 敷島自治区里づくり部



事業名 河畔林と小渡城址を活かしたまちづくり事業
団体名 小渡山里愛護会



事業名 炭焼きによる元気な集落づくり事業
団体名 押井地域森づくり会議



事業名 敷島の特性を活かした特産づくり事業
団体名 敷島特産づくりの会



事業名 「みんなでブルーベリー」伊熊の産業興して地域づくり事業
団体名 伊熊の耕作放棄地を活かす会



事業名 特色ある地域づくりパートII 後世に残したい
能見の里山
団体名 浅間の会



事業名 旭地区文化振興拡大事業
団体名 旭フレンドクラブ



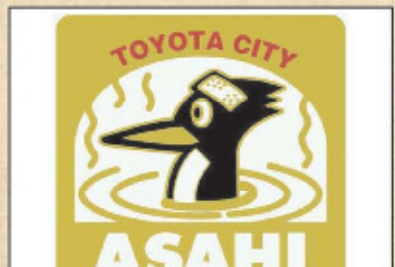
事業名 つくばの里梅園散策路及び見晴らし休憩所整備事業
団体名 つくばの里梅まつり実行委員会



事業名 ヤキろう！にっぽん ～ヤキによる耕作放棄地の
解消～ 事業
団体名 MEE



事業名 あなたのまちへピッツァフェスティバル
団体名 火を囲む会



旭地区シンボルキャラクター『コツキー』

事業名: 旭ぐらし体験事業

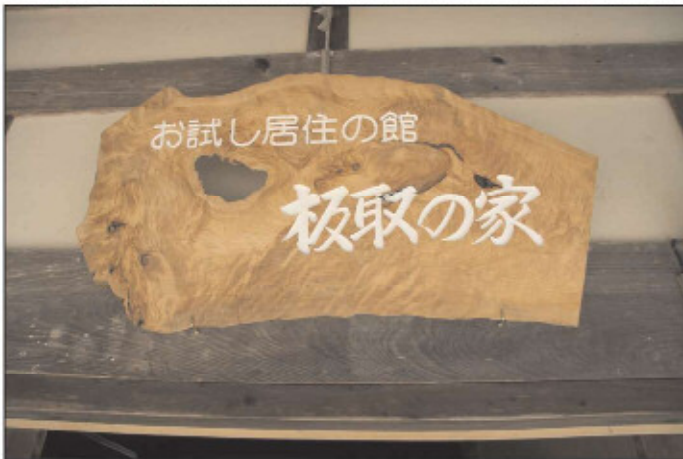
取組課題

都市・農山村交流事業等で旭地域での居住に関心を持つ人々を、実際に定住へつなげるための受け入れ環境の整備が不十分であること。また、定住促進に向けた多様な事業メニューが必要であること。

事業内容

- 「お試し居住の館」及び「お試し農園」を整備し、旭地域でのくらしを実際に体験してもらう。
- お試し居住の館 1戸（太田町板取34番地）
利用スペース: 8畳の和室6室、台所、浴室、水洗トイレ 賃料: 日額1,500円
- お試し農園(畑) 6区画（28㎡/区）賃賃料: 一年間の場合2,800円

23年度予算額: 1,183千円



玄関に掲げられた看板

お試し居住の館『板取の家』の名の由来は、太田町「板取」地内にあるところからつけられています。



建築100年以上経過する古民家

滞在期間: 2日間から1週間まで(最長4週間まで延長可)
利用資格: 豊田市旭地区への移住希望又は検討者



「板取の家」の現地見学会を開催

9月10日(土)に「板取の家」の見学会を開きました。田舎暮らしに関心のある多くの方が参加されました。

農山村の田畑や山や人々と一緒に暮らしたいと思う方々の「お試し」短期滞在型施設です。家族やグループでのご利用をお待ちしております。

まずはお問い合わせを!

NPO 法人 都市と農山村交流スローライフセンター
代表 山本
電話 090-5453-6411

お試し農園については、下記へお問い合わせを
豊田市役所 旭支所 地域振興担当
電話0565-68-2211

事業名 「朝BAKE2011夏」「朝BAKE2011冬」等、竹を使って世代交流！

団体名 朝日丘竹取り物語



活動の目的 (平成23年度)

「竹」をキーワードとして地域や自然を見つめ直し、地域住民と親睦を深め、老若男女が集まって色々な事業を楽しみながら体験しつつ青少年の自然、社会、生活体験に寄与するものとする。

主な活動内容

- ・地域の子どもと大人が交流することを目的に、竹を利用したイベントを開催する。
- ・イベントを通じて竹を素材とした工作を子ども達に指導し、ものづくりの楽しさやひとつの事業を成し遂げる感動を伝承する。

補助金額 272,000円 会員数 20人

事業名 小坂郷づくり事業

団体名 小坂郷づくりの会



活動の目的 (平成23年度)

ものづくり（作業）を通して世代間の交流を図るとともに、失われつつある自然環境を保全、創造して、次世代に継承する。

主な活動内容

- ・自然環境の保全と創造のためのピオトープ整備
- ・ふれあいの場のためのマレットゴルフ場維持管理
- ・子ども達と一緒にイベントの開催

補助金額 900,000円 会員数 129人

事業名 親子・地域の制作活動と地域ふれあい体験

団体名 朝日丘中育友会・おやじおふくろの会



活動の目的 (平成23年度)

- ・ものづくり等を通して、学校と地域の環境整備を進める。
- ・体験活動を通して、保護者や地域の人々とのコミュニケーションを深め、思いやりや地域を大切にする心を育む。

主な活動内容

- ・ベンチやプランターカバー等、木工作品の製作
- ・他の組織と連携した花づくりによる環境整備
- ・親子ものづくりや花づくり等の体験活動を通して交流を進める。

補助金額 720,000円 会員数 654人

人の絆を強めて、安心して暮せる朝日丘の防犯事業

取組課題

朝日丘地域は、地域住民の多くが犯罪に不安を抱いており、特に自転車盗難や空き巣の被害が多い。このような状況下で、地域住民の治安の良いまちにするための活動意欲を持っている。このことから防犯事業に取り組むこととした。

事業内容

- ①運動 防犯パトロール、児童の登下校の見守り活動の拡充
自動車用防犯啓発マグネットを着装したパトロール活動
- ②啓発 防犯啓発大会の実施、防犯だよりの作成・回覧、防犯啓発ポスターの募集
- ③設置 犯罪抑止看板・のぼり旗・横断幕等の設置、支障木の伐採

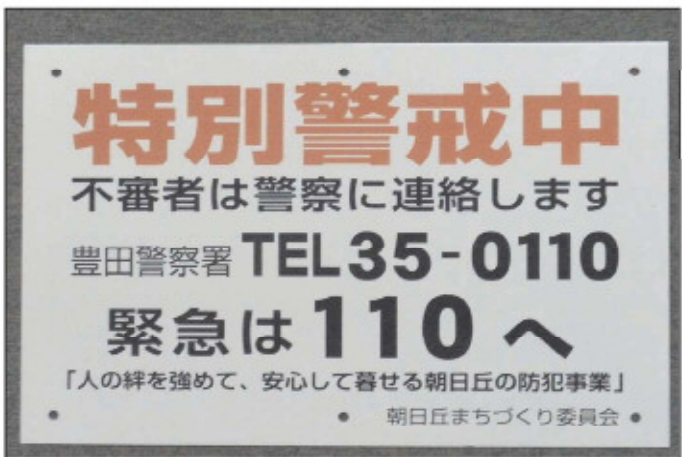
23年度予算額： 4,009千円



【防犯啓発大会】300人を超える朝日丘地域住民が参加し、防犯事業の説明、各団体の決意表明、防犯劇の観覧を実施し、防犯意識を高めました。



【防犯啓発ポスター】朝日丘地域の小中学生を対象に募集し、511枚もの作品が提出されました。今後、このポスターを利用した防犯啓発に取り組みます。



【犯罪抑止看板】防犯啓発のため、朝日丘7自治区に200枚ずつ配布しました。視界に入る場所に設置し、防犯意識の向上に努めます。



【支障木の伐採】朝日丘地域の暗がりの原因となり、防犯上必要と認められる箇所の樹木の伐採を本事業に限って実施します。

事業名 椿の里癒しの時と空間の創造事業

団体名 椿立地域づくり推進委員会



活動の目的 (平成23年度)

楽しく景観整備活動を行うことで自治会相互の信頼を高め、椿立自治区に住む喜びへとつなげることを目的とする。

主な活動内容

- ・竹の伐採、破砕処理
- ・事業箇所を結ぶ道路の清掃作業
- ・椿の植栽
- ・景観ポイントにベンチ・テーブル・看板を設置

補助金額 1,000,000円 会員数 55人

事業名 もの作り交流事業

団体名 霧山耕流会



活動の目的 (平成23年度)

耕作放棄地を再生しトウモロコシ等を栽培することで、山里の景観を取り戻すとともに、都市部住民との交流を行うことを目的とする。

主な活動内容

- ・耕作放棄地の再生
- ・トウモロコシ等の作付け
- ・都市部住民との交流会の開催

補助金額 447,000円 会員数 16人

事業名 東大島の自然を生かした景観を守る活性化推進事業

団体名 東大島ふるさと考



活動の目的 (平成23年度)

東大島町の中心に位置する「桜ヶ丘」を整備し、自然を守るとともに活動を通じた自治会内のコミュニケーションの活発化を目的とする。

主な活動内容

- ・桜ヶ丘植生調査
- ・桜ヶ丘の草刈
- ・エドヒガン、ミツバツツジの植栽

補助金額 181,000円 会員数 75人

事業名：耕作放棄地防止事業

取組課題

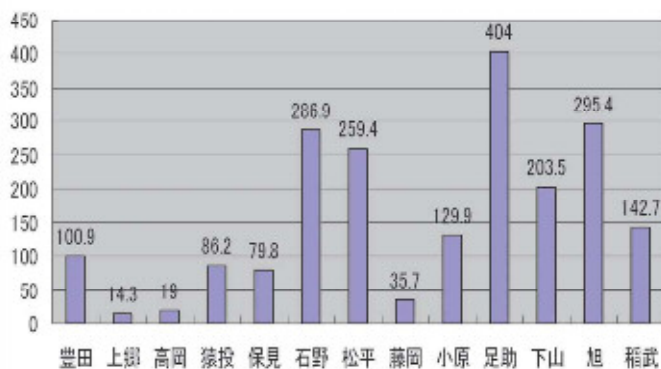
耕作放棄地(耕作しないため荒れてしまった農地)の増加により里山景観が悪化する。また、周辺農地の獣害被害の増加の原因にもなり、周辺の農家が獣害によりやる気をなくし、更に耕作放棄地が増加するという負の連鎖に陥る。

事業内容

- ① 集落で草刈・農地再生を行う耕作放棄地を決定する。
- ② 集落で草刈作業を年2回以上実施する。または、農地再生を行い、作付けする。
- ③ 少人数の集落に対しては、草刈応援隊(都市住民ボランティア)を派遣する。
- ④ 事業実績に対し負担金を支払う。

23年度予算額：4,671千円

耕作放棄地の状況



市内の各地区が抱える耕作放棄地の状況(H21)

足助地区が市内で最も多くの耕作放棄地を抱えており、大きな課題となっています。



草刈応援隊と地域住民

少人数のため集落のみで取り組むことが出来なくても、草刈応援隊の力を借り、取り組むことが出来ます。

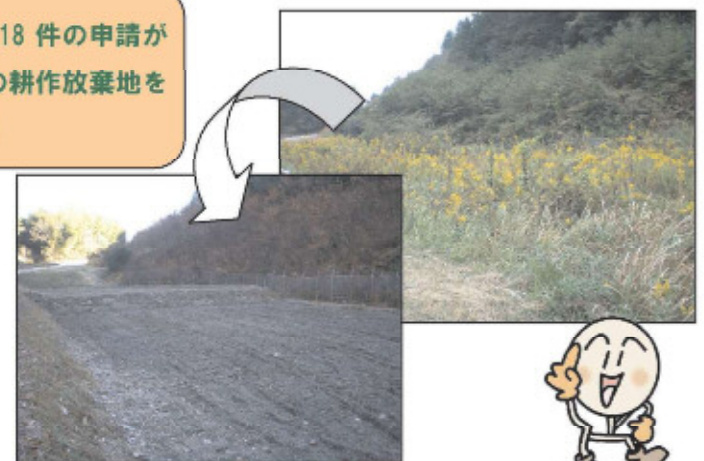


平成22年度は、18件の申請があり、55,259㎡の耕作放棄地を解消しました！！



草刈前後の耕作放棄地

草刈前は景観も悪くイノシシが荒らし放題だった農地が、景観も良くなりイノシシの出現も減少しました。



農地再生前後の耕作放棄地

草刈から農地再生に至るまで、耕作放棄地を地域の財産として活用できるよう支援しています。



事業名 高町まちづくり活動
団体名 高町まちづくりの会



事業名 第5回井郷ウォーキング大会の開催
団体名 井郷まちづくりの会



事業名 区民館周辺まちづくりの美しさと安全のための職
団体名 天道幸友クラブ



事業名 井上自治区花いっぱい運動
団体名 井上自治区



事業名 演奏技術向上事業
団体名 御船太鼓クラブ



事業名 四郷地区棒の手復活50周年記念誌事業
団体名 四郷地区棒の手保存会



事業名 法面利用による花壇づくり
団体名 寄り合い花壇の会



事業名 里山(お嶽山)整備事業
団体名 下古屋まちづくり委員会



事業名 しら髭草周囲の散策路作り
団体名 御船 しら髭草を守る会



事業名 絶滅危惧Ⅱ類「シデコブシ」の保護活動
団体名 御船 シデコブシを守る会



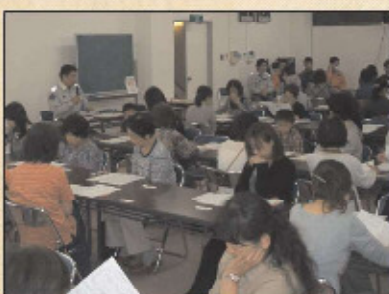
事業名 井上公園遊歩道みどりの小径の階段整備
団体名 ふるさと井上・未来座



事業名 安全な地域づくり活動の推進
団体名 井郷地区防犯ネットワーク会議



事業名 河川清流化と地域環境整備活動
団体名 御船の川と環境を守る会



事業名 井上自治区福祉対策事業
団体名 井上自治区 女性部



事業名 水無瀬川周辺植栽推進事業
団体名 水無瀬川周辺植栽推進事業実行委員会

事業名：交通弱者を守る安心・安全事業

取組課題

地域内の生活道路等において ①通学路における安全対策が不十分 ②通学路の認識や高齢者の多い道路としての認識が低い ③交通ルール・マナー等が守られない ④交通事故等が多く発生する場所がある等、特に子どもや高齢者にとって危険である。

事業内容

- ①通学路、横断歩道や交差点等における啓発
通学路安全のみどり線表示(井上小学校区)、注意喚起用看板の作成・設置など
- ②ソフト対策による啓発
街頭活動用プレートの標語を小学生から募集・作成、啓発グッズの作成と配布
- ③事事故事例やヒヤリハットマップ・現場から専門家による危険箇所の調査・分析と住民を対象とした改善アドバイス、意見交換会の実施

23年度予算額： 858千円

意見交換会(1回目)



危険箇所の現地調査(8月)

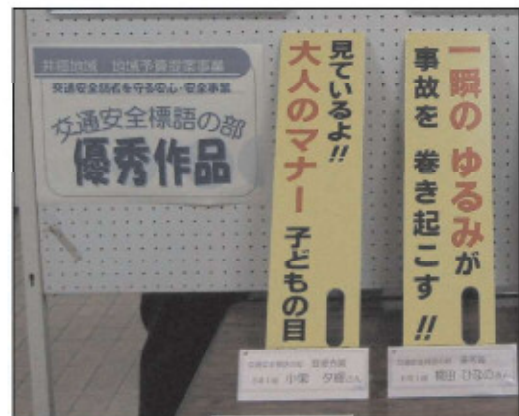
意見交換会(2回目)



住民との意見交換会の1回目を7月に実施。危険箇所の洗い出しと住民からの意見をもらいました。8月には、意見交換会を踏まえて危険箇所を地元の方々と見て回り、専門機関が調査研究した成果について、地域住民に情報提供するとともに、交通安全対策について、地域住民と意見交換(2回目を2月に実施)を行いました。(平成22年度)



上記の調査等を実施し、その結果を踏まえ、井郷地域の危険箇所等の状況を皆さんにお知らせし、普段の生活の中で注意していただくように、マップを作成しました。この交通危険箇所マップは、井郷地域の交通事故(人身事故)多発地点や「ヒヤリ」、「ハット」した場所を示したもので、井郷地域に全戸配布しました。(平成22年度)



小学生を対象に交通安全標語を募集し、優秀作品をハンドプレートにし、表彰式を実施。交流館祭にプレートを披露し、その後、街頭活動等で活用しています。(平成22年度)



事業名 農村舞台の活用事業
団体名 農村舞台の保存と活用を考える会



事業名 石野地区広域行事交通対策研究事業
団体名 いしのまちづくり委員会



事業名 展望台周辺の整備
団体名 大谷展望を愛する会



事業名 花咲くよい里づくり
団体名 小峯老人クラブ 花咲くよい里づくり実行委員会



事業名 高齢者の生きがいの場づくり事業
団体名 広瀬駅前ひろば産直部会



事業名 石野地区活性化研究及び正式団体設立準備事業
団体名 石野を変える会準備会



事業名 石野歌舞伎公演
団体名 石野歌舞伎保存会

事業名：高齢者の生きがいの場づくり事業

取組課題

石野地区は都市近郊部にありながらも、高齢化と過疎化が進んでいる。高齢者が地域で生きがいをもって活動できる場をつくり、健康の増進と住みよい地域づくりが必要となっている。

事業内容

- ①交流施設(旧三河広瀬駅前ひろば)で石野特産物紹介(産直ひろば)
- ②交流施設の案内看板、チラシ作成、配布
- ③特産物研究会(石野の土地にあった農産物の付加価値を高めるための研究)
- ④健康講座の開催
- ⑤交流施設の整備(公衆トイレ改築)

23年度予算額： 1,786千円

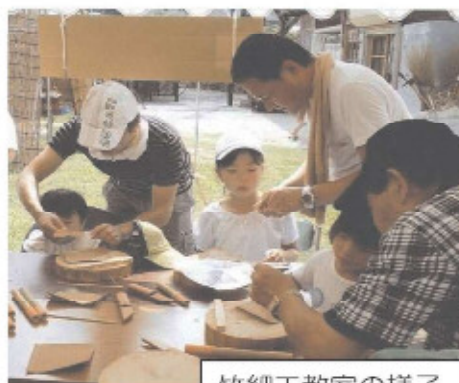
広瀬駅前ひろば開店式典
テープカット



産直ひろばの様子



取扱っている品々



竹細工教室の様子

旧広瀬駅前に地域の特産物などを紹介し、高齢者の生きがいの場として、産直広場「広瀬駅前ひろば」を平成22年6月に開設。そのための案内看板の設置や公衆トイレの整備などを実施している。地域住民をはじめ観光客が多く訪れ、地域の高齢者が生きがいをもって活動できる場とし、あわせて健康講座などを実施。(平成22年度～24年度)



事業名 めざせ「ど真ん中まつり」
団体名 「よいとこいなぶ」踊り連
補助額 184,000円



事業名 パスまちサロン「ちよとよて能」運営事業
団体名 パスまちサロン会
補助額 349,000円



事業名 中当地区集落再生事業
団体名 わくわく中当がらぼろまい会
補助額 623,000円



事業名 こどもスポーツ推進事業
団体名 J. S. C稲武
補助額 880,000円



事業名 世に出せ「梨野不動滝」
団体名 たちあがれ「梨野」
補助額 880,000円



事業名 「読み聞かせを通して子ども達に感動を-読書の力」
団体名 読み聞かせグループ「竹の子」
補助額 254,000円



事業名 親子の山里体験・環境学習事業
団体名 稲武地球寺子屋
補助額 140,000円



事業名 知らない稲武が見えてくる「稲武検定」
団体名 稲武検定推進委員会
補助額 655,000円



事業名 学童野球クラブ(少年野球)
団体名 稲武ドリームズ
補助額 369,000円



事業名 稲武地域を垂の里にする事業
団体名 まゆっこクラブ
補助額 320,000円



事業名 体力アップ事業
団体名 体力アップ有志の会
補助額 166,000円



事業名 小田木花街道づくり事業
団体名 小田木花街道をつくる会
補助額 122,000円

事業名：名倉川景観整備事業

取組課題

名倉川・武節城址周辺の景観整備をすることにより、「どんぐりの里」一帯の回遊性を確保する。

事業内容

- ①名倉川沿いや武節城址の景観の支障となる竹、雑木及び杉・ヒノキなどの除伐、名倉川遊歩道及び武節城址周辺の花木の植栽を地域住民、団体などの参加により実施。
- ②遊歩道の未設置区間の整備及び武節城址などの魅力ある施設を結ぶ遊歩道を設置し、来訪者の回遊性を高める。

23年度予算額： 7,466千円



ワークショップ

遊歩道現地踏査により状況を再確認し、整備をどのように行うかを検討。



ワークショップ

荒廃した農地を今後どのように整備し、管理を行うかを検討。



整備前、遊歩道からの景観

河川周辺の下草・雑木により河川までの見通しが悪く。紅葉の季節にはせっかくの景観を阻害していた。



整備後、遊歩道からの景観

紅葉の季節に清流を望むことができるようになり、つり橋・対岸からの景観も良くなった。

事業名 「みんなで上原里山づくり」(地域の自然を活かした世代間交流事業)

団体名 上原里山の会



活動の目的 (平成23年度)
市有林を里山として整備する活動を通じて、地域住民の交流促進と上原自治区の自然環境を保全する。

主な活動内容

- ・ 竹と樹木の間伐、草刈
- ・ どんぐりの木、さくらと山つつじの苗木の植栽
- ・ 散策の小道の整備

補助金額 610,000円 会員数 41人

事業名 防犯見回り、地域内美化、子ども育成貢献活動

団体名 梅坪おやじ会



活動の目的 (平成23年度)
学校行事、PTA、ボランティアに関わることの少ない父親が、自分の特技などを生かし、梅坪小学校の子どもたちや地域へ貢献する。

主な活動内容

- ・ 夜間の防犯パトロール活動
- ・ まちなみ清掃活動
- ・ ふれあいまつりへの参加(綿菓子の提供)

補助金額 72,000円 会員数 21人

事業名 おまっチャ活性化事業

団体名 梅坪台こども茶道サークル



活動の目的 (平成23年度)
茶道を通じて地域の子どもの美意識・礼儀作法・おもてなしの心を育む。

主な活動内容

- ・ 生徒の募集(地元小学生対象)
- ・ お抹茶の稽古(年間20回)
- ・ ふれあいまつりへの参加(呈茶の提供)

補助金額 102,000円 会員数 6人

事業名：犯罪に強いきれいで明るいまちづくり事業

取組課題

梅坪台地区は犯罪発生率が非常に高く、住民の83.5%が犯罪に対して不安を感じている。特に自動車盗や空き巣などの街頭犯罪が多い地区であり、樹木による視界不良や暗影箇所も多く、犯罪が発生しやすい状態にある。

事業内容

- ①現状把握：地域点検の実施、不安箇所マップの作成
- ②意識啓発：張り看板配布、立て看板設置、防犯啓発大会・出張防犯講習会の開催
- ③実践活動：障害樹木の伐採、防犯用センサーライト・カメラの設置、防犯診断士による防犯診断、防犯対策部品等の展示、防犯団体による情報交換会の開催、住民アンケートの実施、地域の落書きクリーン大作戦、防犯だよりの発行

23年度予算額： 5,654千円



地域の不安箇所を把握してより効果的な防犯対策に反映するため、地域点検を実施し小学校区別に防犯マップを作成しました。(平成22年度)



地域全体で貼り看板を掲示し、危険箇所の状況に応じた立て看板を設置することで地域の防犯意識の高さをアピールしました。(平成22年度)



道路の暗影箇所を解消することで街頭犯罪や不法投棄の防止につなげようと地域住民と共働で障害樹木の伐採を実施しました。(平成22年度～平成23年度)



地域住民の防犯意識の向上を目的に防犯診断士による防犯診断を実施し、住民個々の防犯能力の向上に努めました。(平成23年度～)

事業名 旭区バス停周辺と地域の環境美化活動

団体名 旭ファミリー



活動の目的 (平成21年度)

子どもたち自身で、バス停周辺や自治区内の環境美化に取り組むことで、自分たちが生まれ育った土地への愛着心や物を大切に作る心を育み、同時に自治区内の景観を整える。

主な活動内容

バス停周辺及び国道沿いの花壇の整備
旭自治区内の環境整備活動（主に河川沿いのゴミ拾い）

補助金額 111,000円 会員数 33人

事業名 記念碑建立地整備と史跡マップ・方言・桜の由来誌作成と環境美化活動

団体名 小原北町仲よしクラブ



活動の目的 (平成23年度)

地域の永い歴史が経過した中で、先人たちが残した史跡、文化などを後世に伝承するとともに、環境美化活動を通じて地域の交流を深める。

主な活動内容

22年度事業で実施した記念碑建立地に、手すり、腰掛け、配布箱を設置
町内の史跡マップ、桜の由来誌、方言集の印刷、配布
町内5箇所の花壇整備、道路危険箇所の草刈

補助金額 302,000円 会員数 32人

事業名 大平の自然環境を守る事業

団体名 大平の自然を守る会



活動の目的 (平成23年度)

地域内の景観・環境を守る活動を通して、自分達の地域は自分達で守るという意識の高揚を図る。

主な活動内容

林道沿いに植栽したアジサイの補植、管理
ミニ公園の維持管理
遊休農地を利用した景観づくり

補助金額 145,000円 会員数 60人

事業名：訪問サポーター事業

取組課題

取組課題・・・地区の高齢化(高齢化率33%)が進む中で、高齢者のみの世帯が増加しており、その過半数が独居世帯となっている。高齢者が安心して暮らせるための十分な体制が整っていない。

事業内容

地域で見守りが必要な高齢者に対して、訪問サポーター(近隣住民等)による見守り・訪問を実施する。

- ①訪問サポーター制度のPR
- ②訪問サポーターの募集・発掘
- ③訪問サポーターの人材育成
- ④高齢者等への訪問活動

23年度予算額： 1,986 千円

訪問サポーター制度とは、

昔からの顔なじみの人や近くに住む人(訪問サポーター「おしゃべり仲間」)が、定期的に対象世帯を訪問し、話し相手になって、寂しさを和らげ、はりのある生活を支えようという制度です。



対象者の決定方法

対象者(代行者含む)からの申請

訪問サポーター派遣対象者地域検討会で検討

派遣決定

訪問活動

2時間程度の研修を受けた訪問サポーター「おしゃべり仲間」が高齢者宅を訪問して、安否確認や孤独解消のための世間話をします。対象者に何か変化があったりしたときは、民生委員や小原支所、包括支援センターと連携を取ります。



活動実績

22年度は、24人の対象者に対し、計319回の訪問をしました。訪問サポーター「おしゃべり仲間」は30名養成しました。



訪問サポーター「おしゃべり仲間」が高齢者宅を訪問して、話し相手になります。



訪問サポーターは定期的に研修を受けて、民生委員と協力して活動します。

事業名 三河上郷駅前イルミネーション事業
団体名 三河上郷駅前広場イルミネーション実行委員会



活動の目的 (平成23年度)

地域の中心のひとつである三河上郷駅前広場の冬の景観づくりと、防犯効果を目指す。

主な活動内容

- ・ 実行委員会（4回実施）
- ・ 協賛金依頼
- ・ 三河上郷駅前広場イルミネーションの設置及び撤去

補助金額 349,000円 **会員数** 30人

事業名 みんなであそぼう！たのしもう！
団体名 キッズプランナー



活動の目的 (平成23年度)

親子がふれあい、仲間づくりができる環境づくり
 自然の中での遊びを通じた、子どもの健全育成
 地域とのつながりを持つ

主な活動内容

- ・ おはなし会、親子ふれあい遊びの会（交流館等）
- ・ 親子人形劇・コンサートの企画
- ・ 家下川、矢作川での川遊びとおはなし会

補助金額 353,000円 **会員数** 23人

事業名 高嶺ななわ会ふるさとまつり
団体名 高嶺ななわ会(高嶺七ツ輪)



活動の目的 (平成23年度)

地域、学校、家庭と連携をはかり、米づくり、そばづくりを通じて交流をはかり、声を掛け合い安心、安全なまちづくりにつなげる。

主な活動内容

- ・ 「田植え」「稲刈り」「もちつき」「梨の品評会」
- ・ 高嶺ふるさとまつり

補助金額 432,000円 **会員数** 13人

事業名：うねべ里山整備事業

取組課題

上郷地域に残る唯一の雑木林の姿を残す里山。竹や蔓植物が繁茂し、粗大ごみの不法投棄もあり荒廃。これを整備し、柳川瀬公園と一体化させて地域の人たちが自然とふれあえる憩いの場、子ども達の環境学習、体験学習の場となるような場造りを目指す。

事業内容

- ①地域ボランティア「緑野の会」が里山の整備・維持管理について専門家を招き基礎研修。
- ②「緑野の会」は平成19年度、整備・活用計画を立案し、地権者に同意書を取り、この事業を地域会議に提案し、わくわく事業として承認されスタート。現在も活動を継続。
- ③平成22年度、地域予算提案事業の承認が得られ、更に整備が一気に加速。
- ④平成23年度、樹木名札・遊歩道・ベンチ・案内看板等、活用に伴う資材を得て整備。

23年度予算額： 2,000 千円



整備作業前の里山 2006.11



2007.11 初年度の整備活動



維持管理活動：毎月第1木曜日継続



境界杭の確認



2010.10 地域予算提案事業で未整備地一括整備



2010.11 緑野の会会員参加整備活動：粗大ごみ収集 & 安全ロープ張り

2011：用水土手に彼岸花、水仙植え込み済み
里山内整備（樹木名札、丸太材とチップで遊歩道等）



事業名 切り絵で描く猿投の四季
団体名 和の切り絵倶楽部



事業名 加納町まちづくり事業
団体名 加納町ふれあいまちづくり推進部



事業名 地域資源を活かしたまちづくり事業
団体名 猿投地区まちづくり協議会



事業名 乙部ヶ丘わくわく事業2011
団体名 乙部ヶ丘わくわく事業推進委員会



事業名 団地内美化活動と改善活動
団体名 さなげ台愛護会



事業名 舞木町まちづくり活動
団体名 舞木町まちづくり協議会



事業名 乙部ふれあい広場整備事業
団体名 乙部まちづくり委員会



事業名 猿投町まちづくり事業
団体名 猿投町まちづくり協議会



事業名 亀首町まちづくり活動事業
団体名 亀首町まちづくりの会



事業名 打ち囃子太鼓保存維持事業
団体名 猿投打ち囃子太鼓保存会



事業名 散策路(遊歩道)駐車場整備事業
団体名 本徳町まちづくり委員会

事業名：ふれあい豊かなまちづくり・猿投

取組 課題

猿投地域は豊かな自然と歴史に恵まれた地域であるが、これらの地域資源を知る住民が年々少なくなっているほか、住宅団地の開発により新住民も増えている。こうしたことから、地域愛の高揚と新旧住民の融和が課題となっている。また、アンケート結果から安心安全なまちづくりへの期待が高くなっている。

事業 内容

- ① 観光交流振興マップ作成
- ② 歴史遺産案内看板の作成
- ③ 通学路に安全のみどり線設置
- ④ マナー啓発チラシの作成(飼犬のマナー)
- ⑤ 防犯講演会の開催
- ⑥ 防犯啓発チラシ作成
- ⑦ 地域資源を活かした交流事業の実施

23年度予算額：1,157千円



地域住民には地域の歴史・文化などを知り、郷土に愛着を持ってもらい、来訪者には地域の良さを理解してもらうために案内地図を作成しました。(平成22年度)

地域住民が身近なところで被害を耳にし、不安を感じているとの声が聞かれ、安心して暮らせる地域をつくろうと防犯チラシや啓発看板を作成しました。(平成22年度～23年度)



猿投地域にはたくさんの史跡などがあります。これらの史跡の由来などを説明した案内看板を8箇所設置しました。(平成22年度)

狭い道路や通り抜けになっている場所に、運転者に通学路であることを注意喚起するための通学路の安全のみどり線を引き、あわせて看板も設置しました。(平成22年度～23年度)



事業名 みつばつつじ植栽事業
団体名 前田公園愛護会



事業名 スポーツを通して地域のまちづくり推進事業
団体名 荒井まちづくり協議会(卓球クラブ)



事業名 枝下町坂上バス停前花壇づくり
団体名 枝下寿花クラブ



事業名 枝下町百田花かざり活動
団体名 フローラ志多里



事業名 桜と水の親さを知る体験～地域を巡りて～
団体名 青木PTA読み聞かせサークルわくわく



事業名 あなたが主役わくわく事業したれ駅ちろほ
団体名 枝下自治会あなたが主役わくわくクラブしたれ駅ちろほ



事業名 あなたが主役わくわく事業したれ桜
団体名 枝下自治会あなたが主役わくわくクラブしたれ桜



事業名 あなたが主役わくわく事業したれ史跡
団体名 枝下自治会あなたが主役わくわくクラブしたれ史跡



事業名 前田公園石仏コース補修事業
団体名 平戸橋一区まちづくり協議会



事業名 知的障がい者との交流ふれあい事業
団体名 ハート オブ きずな



事業名 前田公園愛護会マレットゴルフ場建設
団体名 前田公園愛護会マレットゴルフ委員会



事業名 桜坂整備事業
団体名 青木桜坂整備協議会

事業名：安心して暮らせる安全なまちづくり事業

取組課題

重大犯罪をはじめ車上あらし、自転車盗などの犯罪が多発している。住民によるパトロールなど防犯活動を行っているが、住民の防犯意識に差があり、犯罪を防ぐ意識が低く、地域全体での取り組みが不足している。

事業内容

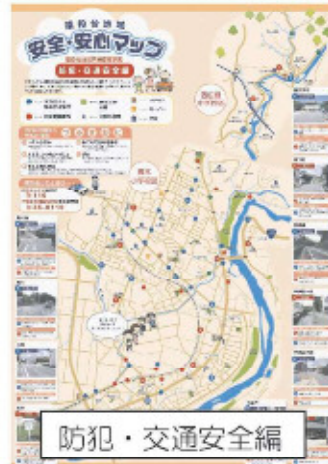
- ① 防犯講座及び勉強会等の開催
- ② 防犯マップの作成
- ③ 防犯カメラの活用
- ④ 防犯情報コーナーの設置
- ⑤ 防犯キャンペーンの開催
- ⑥ 防犯活動PR看板の設置

23年度予算額： 286千円



防犯講座の様子

犯罪のおきにくい地域を目指し、また住民の防犯意識を高めるため、防犯対策について学習し、各家庭で役立ててもらえるよう防犯講座を開催しました。
(平成22年度～平成23年度)



防犯・交通安全編



防災編

地域の犯罪や交通事故がおきそうな危険な場所を知ってもらい、また、災害時の危険箇所や避難場所などを周知するため、マップを作成しました。(平成22年度)



監視カメラ作動中

防犯特別警戒中

猿投台地域予算提案事業
猿投台・自治会

犯罪抑止力向上を期待し、防犯カメラと防犯活動PR看板を合わせて設置しました。また、適宜効果の高まる場所へ移設も行いました。
(平成22年度～)



防犯キャンペーンの様子

多発している各種の犯罪について現状を知ってもらおうと、毎年、地域住民にPRパンフレットを配布し、注意を払ってもらうように、防犯を呼びかけています。(平成22年度～)

事業名 みんなでいきいき環境整備

団体名 花山コミュニティ「花山いきいき緑の会」



活動の目的 (平成23年度)

下山の玄関にあたる花山地域の国道沿いにアジサイとミツバツツジを植樹することで地域の活性化を図る。地域を見守る目があることで、安全安心な地域とする。

主な活動内容

- ・ 昨年植樹したところの整備（草刈り、追肥）
- ・ 植樹（アジサイ、ミツバツツジ）
- ・ 間伐材を利用したベンチの作成（講習と実技）

補助金額 187,000円 会員数 35人

事業名 地域力活用・活性化事業

団体名 ホットチョツと田平沢小助隊



活動の目的 (平成23年度)

この地域の資源である「和・団結・助け合い」を次世代に繋いでいこうと高齢化が進む旧田平沢小学校区において、地域の若者が中心となり「出来ることから少しずつ助け合おう」を合い言葉に田平沢小助隊を設立した。

主な活動内容

- ・ 次世代につなげる景観づくり。（花木の植栽等）
- ・ 地域産物の開発（廃棄菌床マイタケの試験栽培）

補助金額 97,000円 会員数 10人

事業名 すまいる ライフ事業

団体名 プロジェクト『H』



活動の目的 (平成23年度)

・ 住民相互の繋がりをつくる。気楽に笑顔であいさつできる地域づくり。
・ 清流巴川（平瀬やな）・田んぼ・樹木(花)との一体感のある地域づくりを目指します。

主な活動内容

- ・ 花木の植樹をし、美しく魅力ある平瀬町とします。
- ・ 小公園を利用しての他地域との交流会の開催。
- ・ 河川整備(竹切り等)の継続的推進と草刈りによる景観維持。
- ・ 小公園の整備と、維持管理。

補助金額 260,000円 会員数 19人

事業名：『食』による地域活性化事業 H21 年度～

取組課題

若者の流出で地域に元気がなくなっている。
下山には新鮮でおいしい食材があるにもかかわらずあまり知られていない。
住んでいる地域の良さを、住民自身が『食』を通して、再確認する。

事業内容

- ①料理コンテストの作品募集
(募集要項・ポスターの配布、広報誌・市 HP 等での情報発信)
- ②料理コンテストの開催
- ③普及活動(地域イベントでの試食会・レシピ集の配布・体験教室の開催)
- ④入賞作品を地域内の飲食店で商品化、販売

23 年度予算額： 720千円



料理コンテストの作品募集をしたところ、毎年たくさんの応募がありました。親子で調理もしてくださいませ。
(平成23年度第3回二次審査(調理実演))



ホテルトヨタキャッスル・名鉄トヨタホテルの料理長をはじめとする審査員により審査を行いました。



地域イベントで表彰式を行い、活動内容を紹介しました。また入賞作品の試食を配布し、多くの方に味わっていただきました。



入賞作品が地域内の飲食店で商品化されました。(入賞作品をアレンジした「しもやま五平丼」と「お山のしっとり蒸し菓子」を平成23年11月18日から提供)

事業名 環境サポート推進事業(クリーン活動とビオトープづくり)
 団体名 渡刈町サポート会



活動の目的 (平成23年度)
 「クリーンサポート活動」を通じ、地域住民の環境意識および連帯意識を高め、魅力ある住みよいまちにする。また、自然とふれあう子供たちの遊び場「ビオトープ」は、自然環境の維持と、子供たちが環境の大切さや、生命の大切さを学び、優しい気持ちをはぐくむ機会とする。

主な活動内容
 ・ 「クリーンサポート」清掃活動の継続
 ・ 「ビオトープ」の完成
 ・ 垣根・階段設置の計画

補助金額 405,000円 会員数 41人

事業名 便利屋警邏隊・防犯・環境保全情報取材活動事業
 団体名 井慶パトロール隊



活動の目的 (平成23年度)
 安心、安全、好環境。クリーンでやさしい町づくりの実現を支援する。交番と地元住民の情報の共有を図り、防犯効果を期待。

主な活動内容
 ・ 防犯活動を中心とした自転車による巡回活動
 ・ ゴミの不法投棄防止と回収、危険箇所の点検および修繕、環境美化活動
 ・ 愛知環状鉄道末野原駅前の交番と情報交換

補助金額 390,000円 会員数 40人

事業名 御幸本町花いっぱい事業
 団体名 御幸本町花いっぱい運動委員会



活動の目的 (平成23年度)
 安心、安全で明るい町づくり。そして、地域住民間のコミュニケーションと共通話題の提供を目的に、住民自らの手で御幸本町を緑豊かな町に変革する。

主な活動内容
 ・ 区会館と周辺道路に花を植え緑豊かなまちづくりを展開。
 ・ 地域住民で緑化活動を実行し、コミュニケーションを図る。
 ・ フォトコンテスト

補助金額 318,000円 会員数 20人

事業名：末野原地域歴史的遺産等活性化事業

取組課題

地域の歴史的遺産等に対して地域資源としての意識が薄く、活用も十分でないため、将来の保存・継承に不安。

事業

内容

- ①末野原地域会議歴史遺産活性化部会の設置
- ②地域会議委員による遺跡・名所等を調査及びマップ等の収集
- ③史跡の裏面修繕（鴛鴦松平墓所）
- ④コース案内板の作成、設置 8箇所
- ⑤遺跡・史跡看板の作成・設置 15箇所
- ⑥コースマップの作成 7,000部
- ⑦遺産の保全整備 3箇所
- ⑧マップを利用したイベントの実施 1回

23年度予算額： 8,150 千円



わくわく事業での保存・継承活動(平成21年度～)
鴛鴦松平(榊原家)墓所の整備(平成22年度)



鴛鴦松平(榊原家)墓所・於美津の墓の整備活動場所



わくわく事業での保存・継承活動(平成23年度)
於美津の墓：定期的に除草清掃作業



【歴史遺産活性化部会員の現地調査】コース案内板作成検討
平成23年度：現地調査3回・検討会議2回実施

事業名 竹から生まれる人の輪大作戦2
団体名 竹の輪プロジェクト



活動の目的 (平成23年度)
 竹生通りを活気づけ、人と人とのふれあいのある街にしていく。竹生通りの活動から豊田市中に広まり、活気あふれる人の輪をつなげたい。

主な活動内容
 ・子どもたちの絵を旗にし、商店街に掲げ街角美術館にする。

補助金額 820,000円 **会員数** 180人

事業名 おどって かがやく 一番星プロジェクト
団体名 許呂母

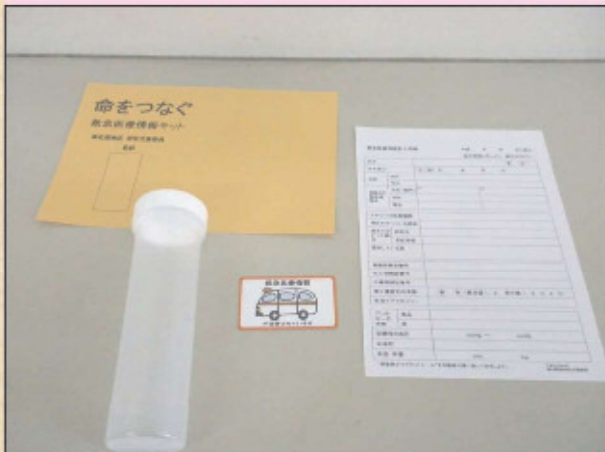


活動の目的 (平成23年度)
 ・子どもたちに豊田市で活動している“よさこい”を通して、踊ることの楽しさと豊田市の特性を知ってもらう。コミュニケーションを図り、地域への関わりを増幅させる。

主な活動内容
 ・子どもたちによさこい演舞披露と演舞指導を行い、一緒に楽しく踊る機会を設ける。
 ・子どもたちが描いた絵を旗にし、商店街に掲げる。

補助金額 730,000円 **会員数** 5人

事業名 救急医療情報キットの配布による、各家庭の緊急時の対応力の充実
団体名 崇化館地区 民生児童委員 高齢者福祉部会



活動の目的 (平成23年度)
 少子・高齢化さらに核家族化の進展により、深刻化している問題の一つとして、一人暮らしの高齢者が救急車を呼ぶような事態になった時に、その場に居合わせた人が、当人についてよく知らないために、「家族にも連絡できない、救急隊員に状態を説明できず」、対応が遅れるケースが多くなってきている。このキットを、そうした可能性が高い家庭に配布して、記載してもらい、例えば冷蔵庫などに保管しておく。一人暮らし世帯、あるいは高齢者世帯に配布する。

補助金額 147,000円 **会員数** 7人

事業名: あいさつや声かけによる、ふれあい豊かな地域づくり事業

取組課題

- ① 自転車盗、車上ねらい、部品ねらいを始めとした街頭犯罪被害の増加
- ② 住民の孤立化による、コミュニケーションの不足

事業内容

- ① 防犯パトロール・交通安全立哨時、地域の会合や商店街の店頭における積極的なあいさつの実施
- ② 小中学生の登下校時のあいさつ運動
- ③ 家庭内でのコミュニケーションの励行
- ④ 標語、スローガンの募集・啓発物品(横断幕、のぼり、ステッカー)の作成

23年度予算額: 2,423千円



地域内に‘のぼり旗’‘横断幕’を設置しました。また、9月から1ヶ月間、松坂屋に懸垂幕を設置するなど、あいさつ・声かけ運動を進めています。



あいさつチェックカレンダーを家庭で積極的にあいさつをしてもらえるよう配布しています。(平成22年度～)



一斉防犯パトロールと合わせて一斉あいさつ・声かけ運動を実施しました。(平成22年度～:年1・2回)



地域内の各団体における活動を振り返り、効果的な運動を継続していけるよう実践者発表大会を行いました。(平成22年度～:年1回)

高橋地域会議

わくわく事業



事業名 高橋地区における高齢者・障がい者等への作業奉仕活動
団体名 高橋おせんしょの会



事業名 山中町将来基本計画の実践事業(郷土料理伝承事業)
団体名 山中町平成会



事業名 市木川美化推進事業
団体名 市木川美化ボランティアの会



事業名 加茂川の環境改善事業
団体名 加茂川を美しくする会



事業名 高橋地区あいさつ運動
団体名 高橋地域教育懇談会



事業名 高橋地区の減災活動
団体名 高橋地区災害ボランティア連絡会



事業名 ちびっこ広場花いっぱい運動
団体名 双美会



事業名 なかよしふれあい交流事業
団体名 ふれあいサロン手呂「なかよし会」



事業名 市木住宅コミュニケーションプロジェクト
団体名 市木住宅園芸クラブ

事業名：防犯力のある地域づくり推進事業

取組 課題

高橋地区まちづくりアンケートにおいて「防犯に対する取り組みが不足」が上位に挙げられており、地域の安全性に不安を感じている住民が多い。地域における防犯意識・自衛意識を高めることが必要である。

事業 内容

- ①防犯啓発シンボル塔の設置・・・各小中学校5校及び公園など8箇所設置
- ②防犯啓発看板の設置・・・高橋地区内の公共施設や地域住民宅へ約1000枚配布
- ③防犯講演会の開催・・・高橋・美里・益富の3地区合同講演会を年1回開催
- ④防犯啓発グッズの配布

平成23年度予算：885千円



<防犯啓発シンボル塔>

- ・日常的な防犯啓発に役立てるため、人の目に付く場所に防犯啓発シンボル塔を設置。
- ・防犯意識を高揚するために、シンボル塔の防犯啓発標語を小中学校の児童、生徒及び保護者から募集。設置箇所 8箇所



<防犯啓発看板>

地域共通の防犯啓発看板を公共施設や個人宅のフェンス等に設置。配布枚数 1,000 枚



<防犯講演会>

地域住民1人1人の防犯意識を高揚させるために、講演会を開催。

H22年度テーマ：「住宅侵入盗と自動車関連盗」

参加者数：約350名

事業名 木瀬地区の里山づくり事業
 団体名 木瀬 四季の里山づくり実行委員会



活動の目的 (平成23年度)

木瀬地区の植栽、遊歩道づくり等の里山づくりを通して、地域住民のふれあいと生きがいづくりを目指す。

主な活動内容

- ・花、樹木の植栽、ふじの回廊づくり
- ・遊歩道、ウォーキングコースづくり
- ・ホタルの育成
- ・紅葉ライトアップとコンサート 等

補助金額 970,000円 会員数 82人

事業名 笹窯陶芸体験事業
 団体名 陶芸クラブ 笹の会



活動の目的 (平成23年度)

学校や交流館と連携し、笹窯陶芸体験を通して子どもたちに創造の機会を提供、地域の歴史の継承を図る。

主な活動内容

- ・地域の子ども達との陶芸体験教室の開催
 (御作小学校、加茂丘高校、ガールスカウト等)
- ・交流館祭での笹窯事業参加団体との共同展示

補助金額 505,000円 会員数 14人

事業名 戸越峠周辺整備事業&手作りアートフェスタ in 藤岡
 団体名 まちづくりネットワークペンぎんむら



活動の目的 (平成23年度)

戸越峠の美化活動による誇れるふるさとづくり、また手作りアートフェスタの開催による藤岡からの芸術文化の発信。

主な活動内容

- ・手作りアートフェスタ(音楽祭&手作り市)の開催
- ・戸越峠でのクリーン活動

補助金額 220,000円 会員数 5人

事業名:「ふじの回廊」の再生及び周辺環境整備事業

取組課題

藤岡地区の「ふじの回廊」のふじの花付きが悪く早期対策が求められている。また近年「ふじまつり」における来訪者も減少しており、この状況に近隣住民や観光事業団体などからふじの回廊に対し、危惧する声が高まっている。

事業内容

- ① 陽光支障木の伐採
- ② 「ふじの回廊」(学校周辺)周辺環境整備(草刈、低木移植と植栽)
- ③ 遊歩道透水性舗装改修整備
- ④ ふじに親しむ講習会の開催

23 年度予算額:410千円



「ふじの回廊」の花咲きが非常に悪く、ふじまつりへの来場者が減りつつありました。藤岡地区の観光資源であるふじの花を再生させようという機運が高まりました。



「ふじに親しむ講習会」を開催し、ふじを守り育てていく人材育成に取り組みました。



観光協会・老人クラブ・御作小学校などとの共働で、ふじの回廊へ低木(コデマリ)を植栽し、回廊周辺の景観向上に取り組みました。



陽光を遮る支障木を伐採した効果もあり、今年度、ふじの花が見事に咲き、ふじまつりへの来場者数も23,000人と、順調に回復しつつあります。

事業名 西中山川環境浄化・景観整備事業
団体名 西中山自治区



活動の目的 (平成23年度)

西中山川の水質浄化活動や大池ふれあい散策道など景観整備を実施し、地域課題を解決して住みよい地域づくりを目指す。

主な活動内容

- ・西中山川の河川浄化活動
- ・ホテル、カワナ放流イベントの開催
- ・大池周辺のふれあい散策道整備、景観整備 等

補助金額 860,000円 **会員数** 3,169人

事業名 藤営のまちづくり事業
団体名 藤営まちづくりの会



活動の目的 (平成23年度)

体験学習、朝市、文化芸能祭、藤営祭りなど各種イベントを企画して、お互いに声を掛け合えとなり組の実現を目指す。

主な活動内容

- ・藤営だよりの発行
- ・体験学習、いもほり会の開催
- ・文化芸能祭、和太鼓を楽しむ会の実施
- ・藤営祭りの復活 など

補助金額 360,000円 **会員数** 7人

事業名 食育による地域住民の健康づくり
団体名 食育推進ネットワークはなもも



活動の目的 (平成23年度)

定期的に食育セミナー等を開催して、食の知識を高め、健全な食生活を実現するための力をつける。

主な活動内容

- ・食育セミナーの開催
(講演、調理実習、キッチンガーデン)
- ・小物作り教室の開催
(サークル花、キッチングッズ)

補助金額 88,000円 **会員数** 5人

事業名：安全で快適な歩行空間作り事業

取組課題

歩道における安全性・快適性が低く、特に通学路における児童・生徒の安全が確保されていない。

事業内容

- ①通学路安全のみどり線の設置(藤岡南中学校・各小学校区)
- ②みどり線の周知・啓発(支所だよりへの啓発チラシ折込みなど)
- ③通学路環境整備(住民による支障草木伐採)

23年度予算額：8,446千円



藤岡南中学校開校にともない、通学環境が大きく変化するため、地域会議委員が通学路の視察を行い、通学の安全確保が課題であるとの認識を共有しました。



狭い道路を通過する通勤車両は、子どもたちの通学における大きな支障です。「通学路安全のみどり線」を設置し、ドライバーに注意を喚起する必要があります。



「通学路安全のみどり線」を中山小学校区の約3.2キロメートルに設置するとともに、地域を挙げて子どもの安全を守る機運を高めるべく、啓発チラシを作成しました。



PTA、中学生、地域会議委員などにより通学路上の草木の伐採やごみ拾いを行い、通学環境の向上に努めました。



事業名 矢作川沿いお休み場の景観づくり事業
団体名 水源公園を愛する会



事業名 下野見自治区の街づくり事業
団体名 山室を愛する会



事業名 地域の絆を深める花いっぱい事業
団体名 丸山まちづくり協議会



事業名 みんなでおもちゃを作って遊ぶ事業
団体名 平和町おもちゃを作る会



事業名 「豊南わんわんクラブ」子ども見守り活動及び犬の散歩マナー向上、環境整備活動
団体名 豊南わんわんクラブ



事業名 ピース ガーデン(PEACE GARDEN)
団体名 平和小学校南歩道橋下の花壇作り事業

事業名：豊南の地、絆を深めて人と人が安心安全なまちづくり事業(防犯)

取組 課題

犯罪発生件数が多く、地域住民の66%が犯罪に不安を抱いており、地域住民の51%が治安の良いまちを望んでいる。

事業 内容 (抜粋)

- ① 「110番ブザー」(中に携帯用防犯ベルを入れた屋外用防犯ブザー)普及活動
- ② 自治区会館等での出張防犯講習会の開催
- ③ 防犯多発地への看板設置
- ④ 「防犯活動強化区域」を示す看板の各戸配布

23年度予算額： 5,609千円



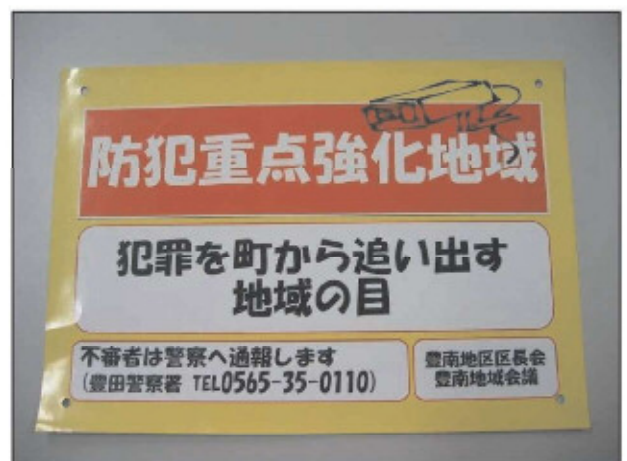
①「110番ブザー」を各自治区出張防犯講習会等を通して作製し、豊南地域の各家庭の玄関先や道路に面した塀に設置してもらいました。(平成23年度)



②豊南地域の各自治区会館等で出張防犯講習会を開催し、住民個々の防犯行動の促進、及び自主防犯組織と警察との連携促進を図りました。(平成23年度)



③防犯抑止の地域環境づくりとして犯罪多発地に大・中の看板を地域各所に設置しました。(平成22年度～)



④豊南地域全世帯に「防犯活動強化区域」を示す看板を配布し、玄関先などに掲出してもらいました。(平成23年度)



事業名 地産地食を通して世代間の交流事業
団体名 仲よしばあばの会



事業名 才能を通して子どもたちの健全育成を推進する事業
団体名 劇団ランプ



事業名 伝統的郷土芸能伝承保存事業
団体名 保見町芸能保存会



事業名 親子ふれあい泥ん子米作り
団体名 米米クラブ



事業名 県指定無形民俗文化財「棒の手」伝承活動事業
団体名 伊保町棒の手保存会



事業名 わくわく「フレンズ」事業
団体名 東保見町まづくり協議会「フレンズ」



事業名 八草地区内里山保全整備事業
団体名 八草倶楽部



事業名 花苗づくり事業
団体名 保見地域FF会



事業名 PROJET-国際交流教育事業 学生海外
団体名 保見ヶ丘ブラジル人協会

事業名：保見地域の安全・安心事業

取組課題

生活道路等において①道路整備が遅れている ②大型車の交通量が多く、道路が狭い上に路肩に危険が多い ③通学路の認識や高齢者の多い道路としての認識が低い、など子どもや高齢者にとって危険である。また車上あらし、自動車盗も多発している。

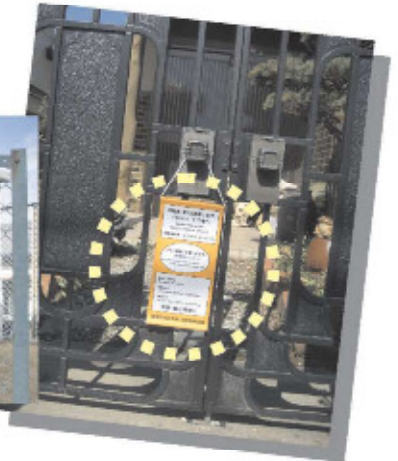
事業内容

- ①防犯パトロールの実施
- ②防犯啓発チラシの配布
- ③防犯啓発看板の設置
- ④防犯講習会の実施
- ⑤交通安全啓発看板の設置
- ⑥交通危険箇所の調査と安全・安心マップの作成
- ⑦子どもからお年寄りまでを対象とした交通安全講習会の開催
- ⑧生活道路の清掃

23年度予算額： 2,552 千円



歩行者が気を付ける場所や不審者が出る場所など住民が注意すべき場所をマップに表示した各地域の安全・安心マップを作成しました。(平成22年度)



不審者の侵入抑止を図るよう防犯啓発看板を設置し、犯罪を未然に防ぐための防犯ペナントを作成し、自治区内で巡回掲示しています。(平成22年度～)



歩行者・運転者に注意を促し、安全運転につなげるよう、運転者にわかりやすく目に留まるようなデザインとした交通安全啓発看板を設置しました。(平成22年度)



高齢者や歩行者の交通安全対策として、交通安全講習会を実施。高齢者を中心に、実技講習会等を体験。住民の交通安全意識を高めました。(平成22年度)

事業名 駒新環境美化パトロール活動
 団体名 駒新環境美化パトロール隊



活動の目的 (平成22年度)
 地域を不法投棄ごみのないきれいな町にするとともに交通安全立哨・防犯パトロール等により、安全で住みよい町にする。

主な活動内容
 ・不法投棄ごみの回収・分別処理
 ・ふれあい広場の草取り、消毒、法面の草刈
 ・祭礼余興の安全指導、どんど焼きの火の元警戒
 ・通学路の交通安全立哨

補助金額 86,000円 会員数 15人

事業名 高齢者健康増進事業
 団体名 堤ぴんころ隊



活動の目的 (平成22年度)
 「常にびんびんと暮らし、最後はころりと逝きたい」を合言葉に、高齢者の体力、脳力アップを目指した活動を積極的に行なう。

主な活動内容
 ・体力アップ教室
 ・体力チェック
 ・堤町文化祭でぴんころ体操発表
 ・健康講和

補助金額 60,000円 会員数 25人

事業名 安全安心な花咲く笑顔の町づくり活動
 団体名 前林第二栄寿会



活動の目的 (平成22年度)
 街角に花が咲き、防犯活動により安全安心で美化活動により美しい町づくりを目指す。

主な活動内容
 ・街角の花壇づくり
 ・小学生の登下校時の見守り活動
 ・道路の美化活動

補助金額 113,000円 会員数 108人

事業名：前林地区周遊散策路等の整備

取組課題

前林地域には、高岡地区の都市公園として高岡公園が整備されているが、公園内には地域住民が憩え、健康づくりに資する施設の整備が十分ではない。

事業内容

- ①周遊散策道の整備
- ②東屋、ベンチの設置
- ③健康づくりストレッチ遊具の設置
- ④草刈、樹木の剪定を定期的実施
- ⑤河川美化活動

23年度予算額： 11,930千円



公園内の周遊散策道が途中で途切れているため、繋げて周遊できるように整備を行なった。(平成22年度)



周遊散策道の途中に休憩所を設け、東屋とベンチを設置して、休憩場所と憩の場として利用していただけるように整備を行なった。(平成22年度)



公園内の調整池周辺の草刈、剪定、間伐を行い、気持ちよく利用してもらえるように整備を行なった。なお、草刈と剪定は定期的実施をしている。



山中川内の菖蒲池の浚渫を行い、公園内の癒しの場として利用してもらえるように、河川環境美化整備をおこなった。(平成22年度)



事業名 志賀ニュータウン自治区内の花による景観づくり

団体名 **クラブ・ニュータウン**



事業名 益富子ども交流事業

団体名 **益富子どもと文化をつなぐ会**



事業名 大見自治区のまちづくり事業

団体名 **大見町を愛する会**



事業名 おとなとこどもの交流プロジェクト

団体名 **チーム Daremo**



事業名 ちよい良いきり隊

団体名 **ちよい悪おやじの会**



事業名 益富地区のゲンジボタルを守り育てる活動

団体名 **益富蛍友会**



事業名 宮前の森林 里山を元気にする会

団体名 **宮前の森林倶楽部**



活動をPRしてます、
仲間を集めて、わくわく
したいわ!

事業名：犯罪の起こりにくい地域づくり推進事業

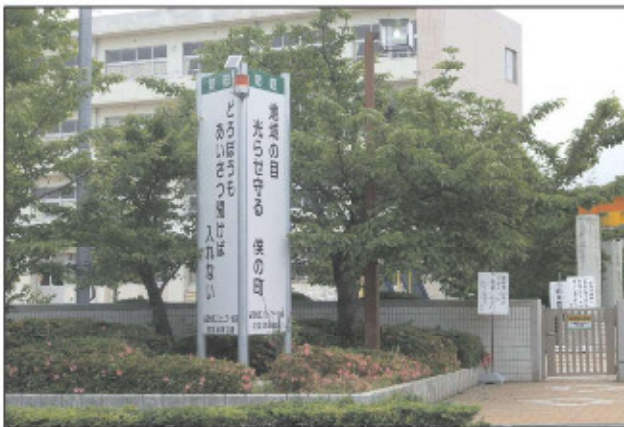
取組 課題

地域における防犯意識、自衛意識は高いが、昨今の市内での犯罪発生状況から、犯罪に対する不安感を持つ住民が多い。アンケート結果においても、めざす将来像として、「治安の良いまち」が1位に挙がっている。

事業 内容

- ・ 防犯啓発シンボル塔の設置・・・小中学校(4校)ほか 全9箇所
 - ・ 防犯啓発看板の設置・・・学校、こども園、公共施設及び自治区
 - ・ 防犯マップの配布・・・2小学校区
 - ・ 防犯講演会の開催・・・益富・高橋・美里の3地区合同講演会を開催(年1回)
- 事業年度：平成22年度から平成24年度まで

23年度予算額： 2,610 千円



<防犯啓発シンボル塔>

小中学校の児童、生徒及び保護者から啓発標語を募集。ソーラー式回転灯により注意喚起を促す。



<防犯啓発看板>

学校や公共施設のほか自治区内の目に付く場所に設置し、日常的な防犯啓発に役立てる。



<防犯マップ>

子どもたちが安全に通学し、犯罪に遭わないために、学校、保護者、住民が情報を共有し連携をとる。



<3地区合同 防犯講演会>

22年度講演テーマ「住宅侵入盗」と「自動車関連盗」
参加者数 約350名

事業名 王滝溪谷散策路景観整備事業
 団体名 王滝自治区



活動の目的 (平成21年度)
 王滝溪谷散策路沿いの長年放置された所有者不在の危険なガワ紡工場廃屋を撤去することにより、景観改善と安心安全なまちづくりを実現する。



主な活動内容

- ・ 廃屋の解体・撤去作業
- ・ 廃材撤去、整地作業
- ・ 産廃処分
- ・ 植栽、案内看板設置作業

補助金額 1,000,000円 会員数 40人

事業名 B29の里整備事業
 団体名 B29の里整備実行委員会



活動の目的 (平成22年度)
 平成16年から坂上町住民を中心に整備してきたB29の里を、墜落後65年経過した現在、忘れ去られていく歴史認識の継承と、戦争の悲惨さを発信する。

主な活動内容

- ・ 当地に墜落したB29に関する情報収集
- ・ 墜落地周辺の立竹木伐採・草刈作業
- ・ B-29友好碑作成設置と除幕式典開催
- ・ 体験者による語りべと記念講演会開催

補助金額 764,000円 会員数 33人

事業名 滝脇学区 元気！プロジェクト推進事業
 団体名 つばさと根っこの会



活動の目的 (平成22年度)
 過疎化・高齢化により地域交流が薄れており、小学校存続のため学校と地域をPR。小規模特認校制による児童数確保のためのイベント開催や、野鳥の森等の整備を行い、地域の活性化を図る。

主な活動内容

- ・ 小規模特認校制周知活動
- ・ 「滝っ子まつり」企画運営
- ・ 野鳥生物保護等の環境整備



補助金額 560,000円 会員数 41人

事業名：通学路の安心安全の推進を図る事業

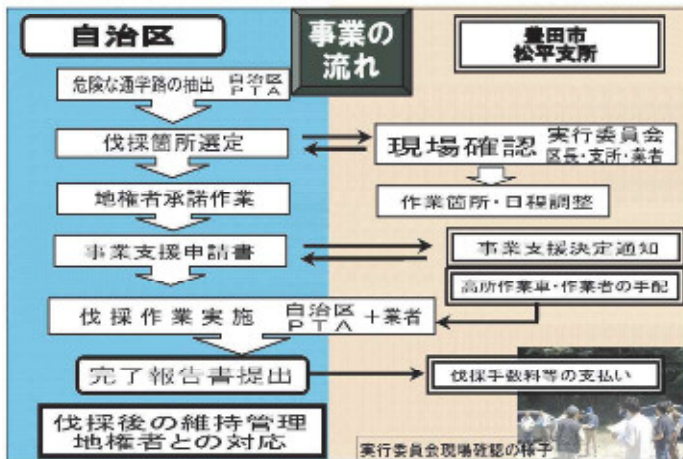
取組課題

山間地や見通しの悪い道路を子どもたちが遠距離通学していることから、通学時の子どもの防犯対策、安全対策の充実が緊急の課題となっている。地域住民の27%が「通学路の安全確保等に関する取組みが不足」と感じ、通学時の事故を心配している。

事業内容

樹木等が覆い被さり通行に危険な通学路等の通行支障となる樹木等(住民では対処できない樹木等)を伐採するため、高所作業車・伐採作業員・交通誘導員を手配する。
地権者同意、伐採木片付け作業、道路清掃作業などを地元住民と共働で実施し、地域の自治力・地域力の向上を図るとともに、安心安全で快適な道路環境の維持管理や良好な生活環境の保全に努める。(平成21年度要望把握、22年度から実施)

平成23年度予算額：3,740千円



地域会議委員・区長・各PTA会長で『通学路の安心安全推進実行委員会』を組織し、箇所・内容・応援体制等を協議し、自治区が主体となって実施



平成22年度実施結果（決算額 6,638 千円）
・18自治区実施（内5自治区二度実施）
・延30日、作業延長 9,375m、協力者 1,107名



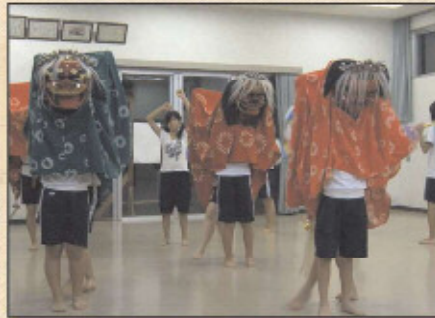
●坂上町の状況（4日実施、1,230m、延べ170人）
住民が少なく支障木伐採作業延長の長い自治区等については、他の小学校区域からPTAの応援を得て実施



●穂積町の状況（3日実施、970m、延べ108人）
事故の危険性が高かった箇所の作業を実施後、明るくなった現場を多くの人が目にする事により、事業の効果及び必要性について、多くの住民の理解が得られた



事業名：こどもの発見！おとなの発見！事業
団体名：こどもミュージアム



事業名：伝統芸能獅子舞保存整備事業
団体名：東山町獅子舞保存会



事業名：美里ファームを活用した世代間交流事業
団体名：美里ファーム



事業名：読書の喜びを子どもに伝える講演会企画事業
団体名：アリスの森



事業名：みさとっ子の遊び場づくり
団体名：かお・顔・かおで顔見知り会



事業名：高齢者を対象とした給食サービス等事業
団体名：にこにこ野見山



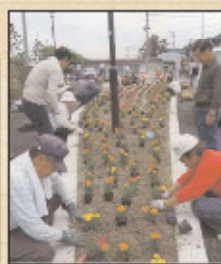
事業名：高齢者体力アップ事業
団体名：野見山高齢者体力アップ教室



事業名：皆でふれあうマレットゴルフの会
団体名：東山ふれあいマレットゴルフ同好会



事業名：宝来地域福祉ふれあい事業
団体名：宝来にんじんクラブ



■花作り活動団体（計7団体）

団体名：野見山クラブわくわく花部会、花いっぱい楽しむ会、花のワルツ、東山町花愛好会、美里一区翔美会花クラブ、美里地区老人クラブ連合会、御立白寿会

事業名：高齢者を中心とした地域住民の交流の場づくり事業

取組 課題

地域住民の高齢化が進展する中、高齢者を中心とした地域住民の交流の場づくりが必要である。「健康づくり」「仲間づくり」をキーワードに地域住民による世代間交流を通じて、高齢者が生きがいを感じる地域づくりを図る。

事業 内容

- ①美里地域を探るウォーキングの普及
・ウォーキングコースの検討 ・ウォーキング大会「美里ふれあいウォーク」の開催
- ②「ものづくり体験教室」の開催
・放課後児童クラブで、地域の老人クラブ会員が講師となり、「凧」「お手玉」「竹とんぼ」のものづくり教室を開催。作成、遊び、昼食を一緒に行い世代間交流を図る。

23年度予算額： 600 千円



<ウォーキング大会「美里ふれあいウォーク」の開催>

平成22年9月26日(日)に「第1回美里ふれあいウォーク」を開催（本年度は11月20日予定）
地域の史跡と寺社を巡る2kmと6km コースを楽しくウォークしました。【参加者数】101名



<ものづくり体験教室>

東山小学校、野見小学校、広川台小学校の放課後児童クラブの教室で、夏休み中に開催。久しぶりに子どもたちと楽しく遊べたと話された老人クラブ会員の方もおり、和気藹々のなか実施できた。

事業名 公園の桜梅育成と景観づくり
団体名 竹村新池公園ボランティア会



活動の目的 (平成22年度)
 竹村新池公園内の桜梅の育成及び美化活動や景観づくりを進め地域住民が健康的に楽しく利用できるようにする。

主な活動内容
 ・桜梅の育成のため、施肥、剪定、薬剤散布を実施
 ・草刈り、芝刈り、ごみ拾い
 ・景観づくりのため、竹林・一般樹木等の手入れ、剪定

補助金額 673,000円 **会員数** 74人

事業名 竹下果実愛護事業
団体名 竹下果実愛護会



活動の目的 (平成22年度)
 果実の栽培、収穫を通して、園児、児童、生徒とのふれあいの場を設け、地域内で交流を深める。

主な活動内容
 ・果樹の剪定、手入れ
 ・草刈り、消毒、追肥
 ・子どもたちを招いての収穫
 ・果実の配布(子ども園、幼稚園、小中学校)

補助金額 262,000円 **会員数** 22人

事業名 緑ヶ丘自治区内の自主防犯活動
団体名 緑ヶ丘防犯パトロール隊



活動の目的 (平成22年度)
 子どもの登下校時の安全を確保するとともに、地域住民が安全で安心して生活できるまちづくりの推進を図る。

主な活動内容
 ・子ども見守り活動(登下校時)
 ・青色防犯パトロール活動(週1回)
 ・地域見守り活動(随時)
 ・防犯講習会の開催

補助金額 48,000円 **会員数** 27人

事業名:ごみ出しマナー向上推進事業

取組課題

地域住民の約2割が、地域の環境が「ごみの散乱のためにきれいとは思わない」と感じている。地域ごとにごみステーションの立哨、巡回、住民説明等の啓発を行っているが、改善が見られない。

事業内容

- ①ごみステーション利用者への警告として、視覚効果を図った監視カメラの設置
- ②ごみの分別をより分かりやすくする、分別用大型看板の作成、設置
- ③地域における分別マナー向上のための啓発活動の実施

23年度予算額: 497千円



ごみステーション用の看板は、視認性を高めるために、通常配布される看板の約1.5倍の大きさのものを独自に作成しました。



ごみステーション用監視カメラは、各自治区内で特にごみ出しマナーが悪いステーションを中心に設置しています。(緑ヶ丘自治区)



監視カメラは、22年度に1基、23年度に2基製作し、竜神地域の8自治区を3ヶ月ごとのローテーションで設置しています。(東田自治区)



ごみステーション用大型看板と監視カメラの併設で一層効果が上がりました。(西田自治区)大型看板は、ポルトガル語、英語、中国語用も作成しました。

事業名 若園っ子の創造力を高める事業
 団体名 若っ探



活動の目的 (平成22年度)
 子どもたちに車の製造工程の工場見学や、教材を使ったものづくりを体験させ、関心を高めると同時に、創造力豊かな子どもを育てる。

主な活動内容

- ・トヨタ車体で、自動車が作られていく工程を見学
- ・工場で行っている環境活動の勉強
- ・従業員が行っている作業教育訓練の体験
- ・教材を使った車の模型の組立て
- ・組立てた模型で競争や作品の評価

補助金額 142,000 円 会員数 10 人

事業名 旧神楽復活事業
 団体名 中根神楽保存会



活動の目的 (平成22年度)
 昭和初期に戦争により中止になった神楽を復活させ、地域の伝統文化を守り後世につなぎ、子どもたちの健全育成と地域づくりに貢献する。

主な活動内容

- ・毎週日曜日に練習
- ・中根神明宮祭礼で演奏
- ・公民館で演奏
- ・迎春演奏
- ・区民祭で演奏

補助金額 385,000 円 会員数 40人

事業名 安全、安心な町づくり
 団体名 花園町自治区防犯隊



活動の目的 (平成22年度)
 安全、安心な町づくりのために、不審車(人)の侵入抑止、被害に会わないための活動強化。

主な活動内容

- ・シンボルタワーの設置
- ・「防犯カメラ作動中」看板作成
- ・徒歩パトロールの強化
- ・情報のタイムリーな提供(防犯だより)
- ・青パトによる地域内パトロール

補助金額 831,000 円 会員数 227人

事業名：通学路の防犯、交通安全対策

取組課題

児童・生徒の防犯・交通安全の視点から、通学路で安全が確保されていない場所がある。地域住民の2割が、通学路の安全確保等が必要であると感じている。また、6割強が、犯罪に対する安全性に不安を感じている。

事業内容

- ①「安全のみどり線」の追加施工
- ②ヒヤリハットマップの作成
- ③防犯ブザー(サイレン)の設置
- ④危険交差点の安全対策(赤ゼブラの設置)

22年度予算額： 7,398千円



通学路に、自動車を運転する者及び他の通行人に対して通学路の認識をもたせ、児童の交通事故防止を図るための「みどり線」を設置しました。(平成22年度)



地域の小中学校周辺の通学路で、防犯上危険な場所3箇所に防犯ブザー(サイレン)を設置しました。今年度も2箇所設置を予定しています。(平成22年、23年度)



地域の小中学校の子どもたちが、交通事故や犯罪にまきこまれないこと、また、地域住民の交通安全及び防犯への意識を高めるためにヒヤリハットマップを作成しました。(平成22年度)



地域内で交通事故の起こりやすい交差点に、通行車両への注意喚起のためのカラー舗装を行ないました。(平成22年度)

事業名 自主防犯パトロール隊ボランティア活動促進事業

団体名 若林区自主防犯パトロール隊



活動の目的 (平成22年度)
小中学生の安全確保と地域内の空き巣、忍び込み、侵入盗の防止を図る。

主な活動内容

- ・青パトによる地域パトロール
- ・登下校時の見守り
- ・徒歩による町内パトロール

補助金額 82,000円 **会員数** 295人

事業名 ホタルが飛び交う環境を再現するまちづくり

団体名 若林ホタル研究会



活動の目的 (平成22年度)
ホタルの育成を通じて良好な自然環境の大切さ、素晴らしさを地域住民に広く認識していただくことにより、逢妻男川の水質浄化や環境問題への関心を高める。

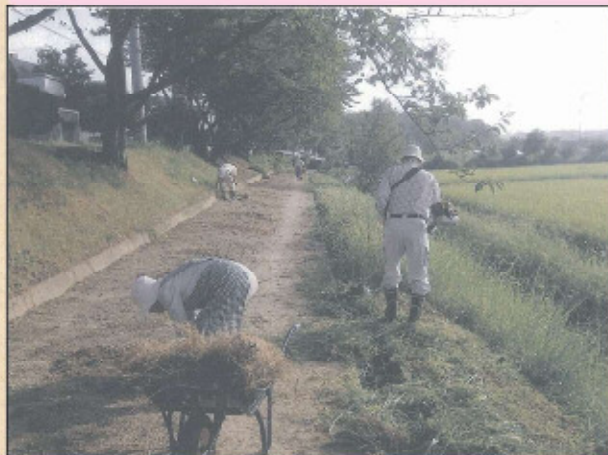
主な活動内容

- ・カワニナの飼育・放流
- ・ホタルの飼育・放流
- ・放流河川の清掃・草刈
- ・先進地視察

補助金額 184,000円 **会員数** 8人

事業名 桜並木景観整備事業

団体名 高美町桜並木保存会



活動の目的 (平成22年度)
高美町桜並木の樹勢を維持し、桜並木下の遊歩道を含めた環境改善を図ることにより、地域住民に憩いの場を提供する。

主な活動内容

- ・枯れ枝、胴ぶきの処理と施肥
- ・草刈作業
- ・低木、草花の植栽
- ・遊歩道でのバーベキュー・飲酒禁止の立て看板設置

補助金額 248,000円 **会員数** 44人

事業名：高美団地遊歩道の整備

取組課題

高美団地の桜並木は、市内でも有数の桜の名所となっており、多くの方が訪れ、桜並木に隣接する遊歩道を散策に利用しているが、遊歩道は道路からのアクセスが悪く、且つ危険な箇所がある。また、遊歩道の脇にある広場には、休憩場所がない。

事業内容

- ①高美ほのぼの広場に東屋を設置
- ②高美桜並木に2箇所に階段を設置
- ③高美ほのぼの広場にベンチ、テーブルを設置
- ④既設の「タンポポロードウォーキングコース」の変更
- ⑤ウォーキングコースマップを新設

23年度予算額： 11,162千円



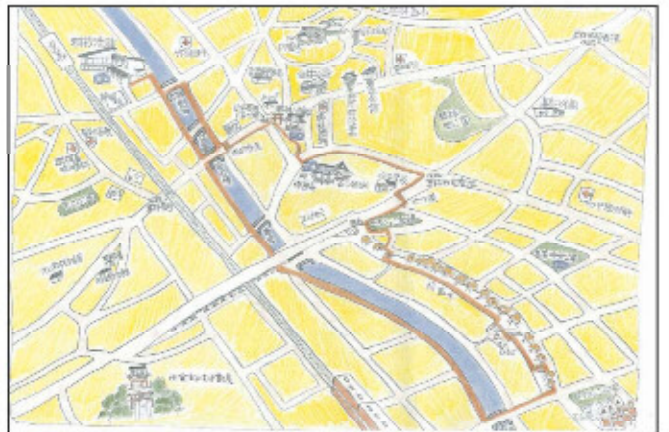
桜並木の下遊歩道は約700mあり、東側には田園風景、その横には逢妻男川が流れる素晴らしい景色を見ながら楽しく歩けるようにコースの変更を予定しています。(平成24年度)



遊歩道を利用する方の休憩場所として、また、地域住民の憩いの場として利用していただけるように、東屋を設置しました。ベンチ、テーブルの設置も予定しています。(平成22年度～平成23年度)



桜並木のある市道から遊歩道に下りられるように、北側と南側の2箇所に階段を設置しました。(平成22年度)



既設の「タンポポロードウォーキングコース」の一部を変更する予定をしています。多くの方に歩いていただけるようにコースマップを作成しPRしていく予定です。(平成24年度)